



ナナカマドの実
木曾駒ヶ岳
千畳敷カールにて
柴田 伸治さん

尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 水谷 龍雄
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻字山王7-5
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2025年9月 NO.448

2025年7月現在 友の会員数 4,870(内社員数781)

家族健康まつり

10月19日
千秋病院

いのちの相談所
9月10日 於・のわみ相談所

広島・長崎で 原水爆禁止2025年世界大会



長崎 被団協の田中さんと共に



広島 原爆ドームの前で

被爆者の願いを 私たちがつなぐ

被爆80年、戦後80年の今年は、広島・長崎の原水爆禁止世界大会に尾張健康友会の職員5名（広島3名、長崎2名）を代表派遣しました。参加者の体験と感想をご紹介します。

広島

被爆者の話を聴いて

千秋病院 介護サービス推進課
事務 大塚 帆乃香

印象的だったのは、14才で被爆した矢野美恵子さんのお話でした。原爆投下当日、たまたま体調不良で学校を休んで助かりましたが、登校していた生徒は全員亡くなり、友人の母親に「はじめに行った子は死んで、サボったあなたが生き残るなんて許せない」と言われたと語る言葉に胸が締めつけられました。戦争

長崎

いつかでなく今こそ

千秋病院 放射線科
放射線技師 森 賢洋

長崎で7日に行なわれた「被爆体験の継承と未来、被爆80年長崎のつど



千羽鶴を奉納。左から森さん、桑原さん



平和祈念像



一本柱鳥居

い」では、ノーベル平和賞受賞の日本被団協の田中熙巳氏ら多くの被爆証言を聞きました。被爆者の皆さんは「核兵器を使わせない、なくす運動に結集しましょう」と訴えました。

8日は尾張健康友の会

た。あまりにも生々しく、想像を超えたもので、改めて二度と原爆が落ちることがあってはならないと思いました。

一人ひとりが行動を

千秋病院 リハビリテーション科
作業療法士 安藤 真奈香

被爆者の方々から直接お話を伺うことができ、大変貴重な経験となりました。被爆から80年が経ち、体験を語り継ぐ人が減っている今、その思いを受け継ぎ、平和の大切さを次の世代に伝えていく責任を感じました。今後は一人ひとりが平和を

願い、できることから行動を始める必要があると強く思いました。

継承していく想い

一宮市地域包括支援センターあき
社会福祉士 岡本 涼

被爆された方や平和活動に取り組む方の想いを聞き、広島で起きた惨劇の跡に触れることで、当時の怒りや悲しみ、絶望などの感情や、平和への真っ直ぐな願いを感じました。当時を知る方が高齢になった今、私たちがその想いを継承し、未来へとつないでいく必要があると考えます。

核兵器のない世界に

ケアハウスあき

社会福祉士 桑原 友

日本被団協代表委員の田中熙巳氏が「80年間、

世界で核兵器が使われなかったのは、被爆者の運動が大きな役割を果たしたから」と述べられました。長崎が「最後の被爆地」であり続けるのは先人たちの努力の賜物。私たちがその運動を受け継ぎ、行動し続けることが大切です。

核兵器禁止条約の発効について、「人間はすごいと思った」と長崎被災協の大石八重子さんが喜びを語ったように、「核兵器のない世界」の達成も不可能ではないはずで

3 発目の核兵器を使わせないため、核兵器不拡散条約と核兵器禁止条約への運動に連携していか

なければいけません。

ひとみ

私は戦後4年生まれの戦争を知らない世代だ。8月15日が何の日か知らない人がたくさんいるようだ。

戦争の悲惨さを知らない、戦争はしてはいけないという気持ちが弱くなっていく▼私の小中学校の教科書知識では、ABC包囲網のため日本はやむなく自衛のため戦争をしたと教えられたように思う。きちんと教育がされているとは思えない。安倍元首相の祖父の岸元首相が、あれは侵略だ、他の国も同じことをしていたとはつきり認めている。学問的にも侵略と定義されている常識だ。ロシア、イスラエルと同じことをしたのだ▼理由があれば侵略してよいとは言えない。嘘で国民を扇動して戦争に動員した事実を認めるところから出発した方がよい。軍事費を増やすことに反対する政党は一部で、マスコミもだんまり状態なのは恐ろしい。安上がりだから核兵器を持つとうなどという無知も横行している▼際限のない軍拡競争で平和がつくれるとは思わない。社会保障、国民生活を犠牲にしてもよいと承認することになる。二度と戦争はしないと誓った憲法を生かしたい。平和のためにできることを今しないと手遅れになる。

(津)